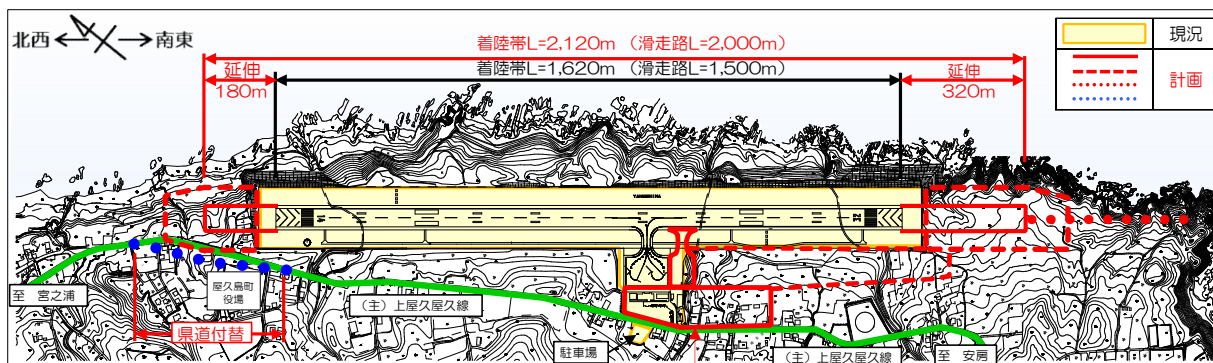


# 屋久島空港滑走路延伸基本計画

## (1) 基本の概要及び計画図

### 【滑走路について】

- 滑走路長を1,500mから、500m延伸してジェット機の就航に必要な2,000mとします。
- 現滑走路の両端を延伸するにあたり、海上の埋立が発生しないようにします。
- 延伸を検討する滑走路南東側の地盤高は、現在の滑走路の高さよりも高い箇所があり、北西側の地盤高は、低くなっていますので、滑走路は、切土量と盛土量のバランスを考えて、最も効率的な北西側に180m、南東側に320m延伸します。
- 北西側への延伸に伴い、屋久島町役場付近において、県道の付替が生じます。



エプロン・ターミナル地域

### 計画の概要

- 滑走路 : (長さ) 2,000m × (幅) 45m
- 着陸帯 : (長さ) 2,120m × (幅) 150m
- 過走帯 : 両端とも (長さ) 60m × (幅) 45m
- 滑走路端安全区域 : 両端とも (長さ) 90m × (幅) 90m
- 誘導路 : (長さ) 75m × (幅) 18m  
(長さ) 75m × (幅) 15m 計2箇所
- エプロン : (幅) 110m × (奥行) 70m (プロペラ機: 2機駐機)  
(幅) 60m × (奥行) 75m (ジェット機: 1機駐機)
- 照明施設 : 簡易式進入灯, 滑走路中心線灯, 誘導路中心線灯, 進入角指示灯, 滑走路灯 等
- 無線施設 : ローカライザー, 超短波全方向式無線標識, 距離測定装置,
- 旅客ターミナルビル : 現施設の約3倍の建築が可能となる敷地を計画
- 駐車場 : 現施設の収容台数以上の台数を確保することを計画
- 管理施設 : 電源局舎, 消防車庫
- 給油施設用地 : 航空機給油施設の敷地を計画

※ 新たに簡易式進入灯やローカライザーを設置することで、運航条件が改善され、欠航便の減につながると考えられます。

### 【エプロン・ターミナル地域について】

- 現在のエプロン・ターミナル地域を拡張することとします。
- 基本計画(案)作成にあたって、次のことを基本方針としました。
  - ・空港の運用を継続しながら拡張工事を実施します。
  - ・現敷地を生かして、周辺地形への影響や利用者の利便性及び工事の時の施工性等を考慮して、南東側に拡張します。



## (2) 事業費・費用対効果について

滑走路の延伸による事業費、費用対効果(B/C)は次のとおりです。

概算事業費

約150億円

※ 概算事業費には、旅客ターミナルビル、給油施設の建設費用は含んでいません。

### 【効果の内訳】

- 屋久島～関東間の旅行時間の短縮
- 屋久島～関東間の旅行費用の低減
- 無線施設等の整備による既存路線(鹿児島,福岡,伊丹路線)の欠航便の減

費用対効果  
(B/C)

1.49

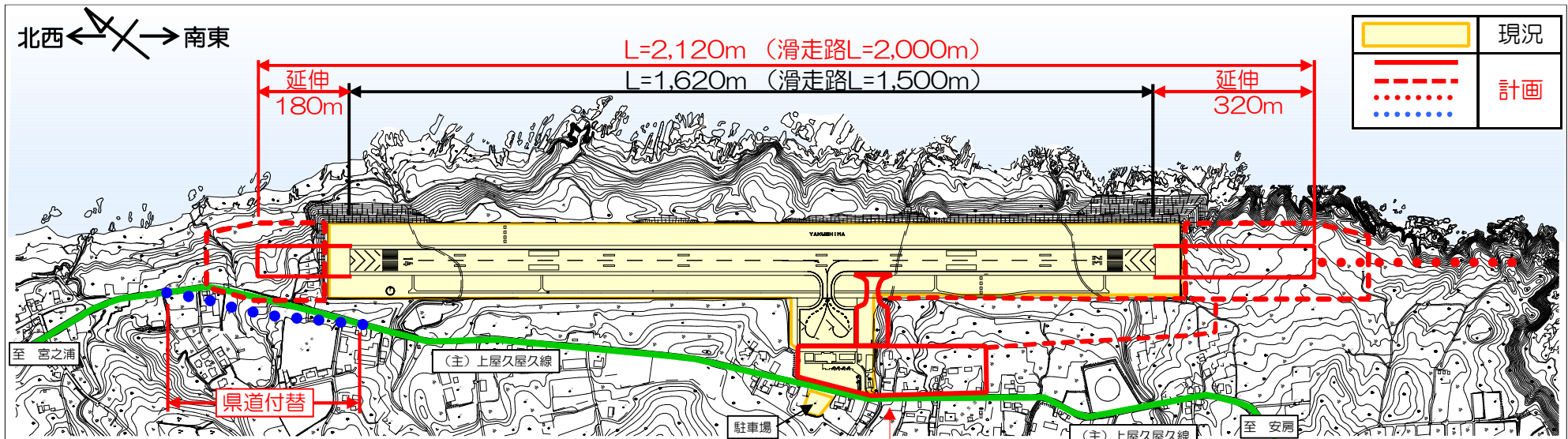
費用対効果とは費用(C)によって得られる効果(B)のことであり、効果は貨幣に換算できるものを対象とします。

効果(B)を費用(C)で割算したB/Cが1より大きいとき、社会経済的にみて効率的な事業と評価することができます。

※概算事業費、費用対効果(B/C)とも今後の検討により変化が生じる可能性があります。

# 屋久島空港滑走路延伸基本計画

## 全体平面図



エプロン・ターミナル地域



# 屋久島空港滑走路延伸基本計画

エプロン・ターミナル地域

場周道路

無線施設

場周道路

地上支援機材用地

旅客ターミナルビル

拡張用地

管理施設

給油施設

駐車場

駐車場

既存駐車場

切土法面

